

# One Team 柏原 「はびろの里未来コミュニティ」

米原市	活動名：柏原学区地域学校協働本部	柏原小学校 柏原中学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：3人(兼務3人) ボランティア登録数：50人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

## ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 □その他( )

## ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・はびろウォークの取組に関して、下見の時期やコース・チェックポイントの場所について検討と確認を行った。(柏原小)
- ・防災訓練の取り組み方について、行政との連携や担当者が変わっても継続的に実施できるように検討した。(柏原中)



【はびろウォーク】

## ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

### ・柏原小「はびろウォーク」

全校児童が、縦割り班に分かれて長沢地区を歩き、地域の方々と柏原地区の歴史や自然と触れ合った。今年度は、タブレット端末を活用し、クイズに挑戦したりミッションをクリアしたりした。学校運営協議会委員や保護者ボランティアは要所に立哨し、安全の見守りや、途中でコースを間違えた班に声を掛けて正しいコースに導いた。

### ・柏原中「地域防災訓練」

11月に本校体育館・校舎等を使って地域防災訓練を行った。今年度は市の防災危機管理課と米原消防署と連携し、防災にかかわる実践的な学習ができた。学年別活動では、1年生は避難所の設営、2年生は消防署による消火訓練や救命講習、3年生はかまどベンチを使って炊き出し訓練を行った。



【地域防災訓練】

## ■ 実施に当たっての工夫

・柏原小の「はびろウォーク」では、今までは、紙媒体のワークシートを持って記入していたが、児童が主体的に取り組めるよう、今年度からタブレット端末とポケットWi-Fiを活用し、デジタルと紙媒体のハイブリットで行った。

・柏原中の「地域防災訓練」では、大規模災害を想定し、備蓄してあるご飯パックとレトルトのカレーライスを使用し、炊き出し訓練を行った。その簡易さが、生徒にとって取り組みやすいものとなり、割り当てられた仕事に責任を持って取り組むことにつながった。防災関係者等との交流も積極的にでき、つながりをつくることができた。

## ■ 事業の成果

・「はびろウォーク」では、地域のことを改めて知ったり、より詳しく探求したりすることができた。また、上学年は下学年の子たちに寄り添って歩いたり、皆がクイズに参加できるように声をかけたりすることができ、リーダーシップを発揮するよい機会となった。また、タブレット端末の活用の幅も広げることができた。

・「地域防災訓練」を、保護者、地域住民(東部デイサービスセンターはびろの避難訓練を兼ねる)、行政や関係機関と連携しながら実施することで様々な内容を取り入れた事業となった。避難所設置、炊き出し、救急救命活動を生徒が主体となり活動することで、災害を自分事として捉えるための貴重な体験となった。生徒にとっては、将来、地域を担う一員となるのだという意識が芽生える取組となった。

## ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

事業の実施は関係機関や学校運営協議会委員、ボランティアの協力なしでは難しい。また、学校主体となっている事業を学校運営協議会主体に変えていく必要がある。そのための組織作りが重要となる。小中園の交流については、コロナ前がそれ以上の取組を実施していきたいので、学校運営協議会と連携し、さらなる情報の共有や熟議が重要であると考えている。

## ■ その他

事業には学校運営協議会委員も積極的に参画している。こども園は学校運営協議会には参画しないが、柏原学区では従来から連携をしている。今年度は十分な連携ができなかったが、今後こども園と小・中学校で地域を巻き込んだ実践を行う予定である。

## ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者(中学校校長・小学校教頭)

## 子どもは地域の宝～地域みんなでふるさとを愛する子どもを育てよう！～

米原市	活動名： 河南学区地域学校協働本部	河南小学校 河南中学校 かなん認定こども園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：4人(兼務2人) ボランティア登録数：130人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域ボランティアの人材確保のために、どのようにPRするかを検討した。
- ・学校運営協議会主催「河南学区まいばら教育フォーラム」の開催時期や内容について協議した。

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・河南学区は、中山道の宿場町(醒井・番場)であった地域のため、歴史・文化の史跡が多く、小中学校ともに「ふるさと学習」に取り組んでいる。その活動には、地域活性化を目的に活動されている「番場の歴史を知り明日を考える会」等のご支援をいただきながら実施している。
- ・小学校の「ふれあいひろば」は、地域の方に計画・実施についてご協力いただいている。地域の方と一緒に制作をするなど、子どもたちが楽しめる活動を行っている。



【 河南学区まいばら教育フォーラム 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・学習ボランティアや講師はできるだけ河南学区在住の方々にご協力願うため、地域学校協働活動推進員が人材発掘に努めた。
- ・「河南学区まいばら教育フォーラム」に、児童生徒、保護者、地域の方の参加を再開した。多くの方に参加していただけるように努めた。

### ■ 事業の成果

- ・家庭科の手縫いやミシン縫いの授業では、教職員1人ではなかなか目の届かないところを、ボランティアの方々に数時間学習支援をしていただくことで、きめ細かい指導ができ、生徒の意欲につながった。
- ・音楽科の和太鼓教室では、その道に長けた地域の方6名に演奏指導をしていただき、中学1、2年生連続で学ぶ充実した取組となった。



【 和太鼓教室 】

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・コロナ禍以降事業が再開される中で、かなん認定こども園との活動を検討する必要がある。
- ・各校とも地域学校協働活動推進員との窓口が管理職に、出勤簿の整理などの事務作業が学校事務職員に偏る傾向にある。そのため、地域連携担当教職員にその職務を任せられる校内体制を構築するとともに、事業全般において地域学校協働活動推進員との役割分担を明確化することが必要である。

### ■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・小中連携による「河南学区学校運営協議会」を立ち上げて6年となる。今年度も、「笑顔いっぱい花いっぱい活動」「笑顔いっぱいあいさついっぱい活動」「笑顔いっぱい学びいっぱい活動」の3本柱で事業の推進を図っている。
- ・学校運営協議会委員には、地域学校協働活動推進員や社会教育委員が参画し、コミュニティ・スクール推進事業と地域学校協働推進事業の一層の連携を図っている。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(事務職員)

報告書記入者(中学校教頭)

**ふるさと伊吹とともに歩み ふるさを愛する心を育てる地域学校協働活動**

米原市	活動名: 伊吹山学区地域学校協働本部	伊吹山中学校 伊吹小学校 春照小学校 いびき認定こども園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印			
開始年度:平成28年度			
		地域学校協働活動推進員等数:4人	ボランティア登録数:60人
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等)	<input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備)	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援	
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備	<input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり
<input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動	
<input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習	<input type="checkbox"/> その他[ ]		

**事業を考案する主体(該当するすべてに印)**

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

**学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)**

- ・生徒の安全 ・取組の発信、広報活動
- ・前年度踏襲ではなく、変化や工夫を加えた取組

**地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)**

(1)地域と連携・協働して実施した総合的な学習の時間の取組

昨年度から、中学校の学校運営協議会と連携・協働して、「東草野探訪」を計画・実施している。この取組は、今まで行ってきた「北国協往還」と合わせ、ふるさと伊吹のよさを体感する目的で行うものである。学校運営協議会では、計画の段階から、生徒が安全に活動できるよう慎重に内容を検討するとともに、地域の方々に生徒を応援していただけるよう検討を重ねた。これらの検討の結果、のぼり旗の準備や奥伊吹観光をはじめ、地域の方々への広報活動及び協力要請、危険箇所の確認や関係機関、報道機関との連絡・調整などに協働して取り組むことができた。当日は、気持ちのよい秋晴れのもと、学校運営協議会委員の皆さんに随行していただき、安全確認、生徒への声かけ、広報用動画の撮影をしていただいた。

ふるさと伊吹の自然や歴史・文化が並ぶ魅力的な「東草野」を探訪し伝承していくためにも、今後も、地域の方々の応援をいただきながら推進していきたい。

(2)学習・活動支援

小学校では、地域学校協働活動推進員が、ゲストティーチャーとして総合的な学習の時間の学習に参画した。菓草の歴史の説明や菓草づくり体験等の児童参加型の学習プログラム「伊吹フェスティバル(地域の部)」を計画・実施し、活動支援を行った。中学校では、地域の大学生が、生徒の学習・活動支援を行った。また、地域の元教職員が、中学3年生を対象に小論文対策講座の講師を務め、学習支援を行った。

(3)伊吹地区教育フォーラム

伊吹山学区では、毎年、園小中連携事業の一環として、校種を超えて教職員がともに学び合う「伊吹地区教育フォーラム」を実施している。今年度は、「シビックプライドの育成に向けて～伊吹山を愛する伊吹っ子の育成をめざして～」というテーマで、ミニコンサートや、春照小学校の取組発表、各校の取組交流を行った。

**実施に当たっての工夫**

各活動の計画段階から、学校と地域が協働して実施できるよう、地域学校協働活動推進員や地域連携担当教職員が中心になって内容を検討している。また、学校と地域双方にメリットが生まれるよう配慮しながら行っている。

**事業の成果**

- ・地域との連携による「豊かな心」と「ふるさと愛」を育む取組の充実が図られている。こども園の発達段階から、小学校、中学校段階へと継続して、ふるさと伊吹を愛する気持ちの醸成を図る取組を進めてきたことにより、中学校では、ふるさと伊吹を愛する気持ちが年々生徒に浸透してきている。
- ・多様な地域の人々と協働する中で、子どもの社会性が育まれている。今後は、学校での学びを地域で活用したり、地域での学びを学校生活の中で活用したりするなど、学校を含めた地域社会全体で子どもを育てようという意識がさらに高まっていくことを期待している。

**事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望**

- ・地域と連携・協働した活動の中で、中学校区の小中園の連携をさらに推進していく。
- ・中学校区の実情に応じた取組を円滑に推進するとともに、今後に向けて、学校と地域が互いにパートナーとして双方向に連携・協働する関係づくりの構築をめざす方向性を学校として明確に示していく。
- ・子どもたちが、学校での学びを地域で活用したり、地域での学びを学校生活の中で活用したりするなど、学校を含めた地域社会全体で子どもを育てようという意識が高まっていけるよう学校が主体となって地域に働きかけていく。

**その他(学校運営協議会との協働等)**

・既存の行事においても、学校運営協議会で熟議しながら進めていく予定である。

**協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)**

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )



【北国協往還ふるさとウォーク】



【東草野探訪】

報告書記入者(中学校教頭)

## 人とつなぎ 学びをつなぐ 子どもの育成を地域とともに

米原市	活動名： 米原学区地域学校協働本部	米原中学校 米原小学校 まいばら認定こども園	学校運営協議会：■有 □無 学校運営協議会：□有 ■無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：90人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

- 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)
  - ・農園活動・環境整備活動を中心とした活動・小中園一体とした活動の推進
  - ・飛び出し坊や製作
  - ・不審者対応の見守りについて
  - ・収穫感謝祭(教育フォーラム)の進め方について



【 収穫感謝祭の様子 】

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・総合的な学習の時間での農業指導や農園整備の実施、収穫感謝祭の開催
- ・生徒会との連携によるアルミ缶回収や親子愛校作業の開催
- ・認定こども園の農園整備(芋苗の手配や芋つるの処分)や環境整備(網戸の整備など)
- ・小学校の夏休み親子愛校作業への参加と環境整備作業、農園の整備作業
- ・小中園が協働で実施した活動(飛び出し坊やの製作、教育フォーラムの開催)
- ・小中園合同の収穫感謝祭の開催(地域住民・保護者等を含めて約500名が参加)

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・2名の地域学校協働活動推進員を、それぞれ中学校担当、小学校・認定こども園担当としておき、学校との連携調整を密にした。
- ・中学校内に地域学校協働本部室を設置していることから、地域の方と接する機会が増え、随時活動を進めることができた。推進員は何回も学校園に来校し、積極的に活動を行った。
- ・PTA組織がなく、親子愛校作業は有志による参加のみのため、学校ボランティアにも参加いただき、除草作業を行った。学校ボランティアで学校内及び周辺の草刈りを2日間実施した。



【 収穫感謝祭のチラシ 】

### ■ 事業の成果

- ・各学年の総合的な学習の時間に、地域学習としてさつまいも・ネギ・大豆・大根・タマネギ等の栽培を行った。農業指導をされている方に畑をトラクターで耕作していただき、農作物の植え付けや収穫の方法について指導していただいた。収穫感謝祭の準備として薪作りや火起こしを行った。
- ・収穫感謝祭には地域ボランティア15名に参加いただき、小中園の子どもたちとの交流をもつことができた。
- ・3年生の生徒が育てた葉ポタンのプランターを日頃お世話になっている地域や関係機関への配付の際に育苗や運搬を行った。
- ・本校では、生徒会を中心にラブプロジェクトとして、アルミ缶やペットボトルキャップの回収を行っている。その生徒会の趣旨を理解し、地域での回収活動や後始末を行った。また、アルミ缶回収の業者への依頼から運搬まで行った。
- ・今年も引き続き、交通安全啓発の飛び出し坊やを地域学校協働活動推進員の協力を得ながら製作することとなった。中学校の生徒にデザインを募集し、色塗りなどの作業をボランティアの方と一緒に実施することができた。また、小中園それぞれに3体ずつの飛び出し坊やを製作・配付し、通学路等の危険箇所を設置する予定である。
- ・不審者対応や下校指導の課題について協議し、地域で見回り活動を実施し、教職員とともに子どもたちの安全確保に努めた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・業務が多様化している中、年間を通じて充実した活動ができているのは、推進員の人柄と尽力による部分が大きい。この活動が持続し、発展するためにも、推進員を補佐しつつ、次の推進員を育成していくことが必要である。
- ・地域ボランティアの固定化・高齢化が進んでいる。新規ボランティアを学校と推進員が連携しながら発掘していく必要がある。

### ■ その他(学校運営協議会との協働等)

コミュニティ・スクールの指定を受け、6年目となる。今年度も地域学校協働本部と学校運営協議会が学校教育を推進するための両輪となりうまく機能していると感じている。今後、生徒が地域へ外向き社会貢献できる取組を推進したい。

### ■ 地域学校推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学年主任 )

報告書記入者(中学校教頭)



## 地域の子どもの健やかな育成をめざす取組

米原市	活動名：双葉学区地域学校協働本部	双葉中学校 息長小学校 坂田小学校 学校運営協議会：■有 □無 おうみ認定こども園 学校運営協議会：□有 ■無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印		
開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：30人		
■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援		
■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり		
□地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動		
■郷土学習 □その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・各校園から学校園経営全体計画についての説明をした。目指す子ども像の具現化に向けた取組について議論を深めた。
- ・地域と学校が連携した学校行事等について具体的な取組を定め、計画・実施した。
- ・積極的に地域と学校が関わっていく手立てについて検討した。

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

#### (1) 地域の方に学び、地域の方と学ぶ学習活動

- ・3年生(社会科)…「字探検」各自治会の特色や産業、遺物や自然について地域の方に教えていただいた。
- ・6年生(理科)…「ふるさとウォーク」地域の地勢や地層、化石について地域の方や専門家に教えていただいた。

#### (2) 読み聞かせボランティアによる読書活動

- ・毎月2回、朝読書の時間に各学級にて読み聞かせを実施した。
- ・学校図書館の環境整備をしていただいた。

#### (3) 学校の環境整備

- ・「花いっぱい」の学校運動の一環として、春と秋の花づくりに支援をいただいた。
- ・地域の方と花の仮植作業や学校花壇への植え付けを行った。
- ・校舎周辺の草刈りと環境整備をしていただいた。

#### (4) 創立150周年記念行事

- ・今年度は創立150周年記念行事を地域の方で行った。学校運営協議会や地域学校協働活動推進員と事前に打合せを行い、誰もが参加しやすい行事になるように計画した。



【6年生 ふるさとウォーク】



【150周年記念行事】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・担任からの要望を地域連携担当教職員がとりまとめ、学習の目的の共有と補助内容について地域学校協働活動推進員と打合せを行った。その際に地域ボランティアに協力いただきやすいよう日程を早期に決定するようにした。
- ・事前確認の打合せと、事後の振り返りを地域学校協働活動推進員と地域連携担当教職員等で行い、次年度に向けて改善点を挙げた。

### ■ 事業の成果

- ・本の読み聞かせや学校図書館の整備に定期的に来校していただいた。新書の紹介や季節に合わせたおすすめの本コーナーを作っていたことで、子どもたちの本に対する関心や興味が高まった。
- ・保護者や地域の方に学校に入っていたり、学校から地域に出かけたりすることで、地域とともにある学校づくりにつながっている。各ボランティアの皆さんがていねいな準備やわかりやすい説明をしてくださるので、子どもたちは安心感や満足感を得ながら学習ができた。
- ・専門的な知識や技能をもっておられる方に支援していただき、学習が充実した。
- ・子どもたちが活動する場所の木の剪定や校舎周辺の草刈りをしてくださるおかげで、安全で美しい学校環境づくりが行えた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・特に中心となって支援してくださる方々の活動が多くなる傾向にあり、負担を軽減する必要がある。
- ・新しくボランティアを申し出てくださった方も含めて活動を継続していくことができるよう配慮する。
- ・今年度の各校での活動を学区内の他の校園に広げ、より地域全体の取組となっていけるとよいと考えている。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(主任事務主査)

報告書記入者(小学校教頭)